

議員名：杉本 保喜

1 今年度の防災体制について

論点	総合防災訓練の想定、これに対する重点目標と期待する成果等を問う。また、この訓練で防災士をどのように参加させるのか。
回答	想定は、南海トラフ地震発生、本市の震度5弱と推定し、津波の高さ3.4mと予想するとした。訓練の重点目標は、市関係機関と市民との連携を図ることである。期待する成果は、市民の防災意識の高揚により、地域での防災活動がより活性化し、災害時に的確かつ迅速に対応できる能力が養われ、市民と市、関係機関との連携がこれまで以上に緊密となることである。防災士には、避難誘導、緊急物資搬送、初期消火、避難所運営等の訓練の先導役をやっていただきたい。

論点	避難所の開設及び職員の避難所運営等の具体的対応と関係各部の連携状況を問う。
回答	避難所は、一部を除き、全庁的体制で職員を責任者又は担当者として配置し、施設管理者とも毎年度鍵の受け渡しについて確認している。地域の代表者等との連携は、不十分なので研究していきたい。避難所マニュアルはあるが、不十分であることも承知しているので、指摘されたことを受け止め、研究し、それを結実させたい。

2 観光振興策について

論点	観光振興ビジョンの基本戦略における施策を進める工程を明らかにされたい。
回答	庁内連携会議を開き関係部署と連携、協議を進めている。7月下旬頃までに庁内での意見を取りまとめ、8月下旬頃に関係団体との意見交換をやって、11月下旬頃には策定を予定している。アクションプランは、本市の独自性を生かしたものにしたい。

論点	市ふるさと文化遺産の登録が始まったが、観光振興の動きとどのように吻合しながら生かしていくのか。
回答	教育委員会としては、まちづくりの素材やテーマをふるさと文化遺

	産として提供する立場であるが、説明板等については関係課と協議したい。観光課は、地域や市民の宝物であるふるさと文化遺産を教育委員会や地元の方々と連携を深めながら、観光資源として活用を図っていききたい。
--	---

3 指定管理者制度における施設での要望・意見の扱いについて

論点	指定管理者制度における「トリプルウイン」の関係を市ではどのように維持しているのか。
回答	モニタリングを適切に行うことで指定管理者制度の目的達成に努めている。また、利用者アンケート等で意見の収集に努めたい。 しかし、第三者をモニタリング委員にすることは、費用の点から考えていないが、関連団体との意見交換会等は有効であると考えている。

論点	専門的知見を持った市民の活用を図る姿勢・制度を示されたい。
回答	5月26日に行われた荒木学芸員との竜王山の現地視察は、今後の観光的価値向上にも繋がるものであった。文化財審議会委員にも専門分野の方がいるので賄えると考えている。特別な事象があれば考えたい。